

笑顔の集い in つしま



演題

いのちと仕事 ～いのちをいただく～

講師

元熊本市食肉センター解体作業員

坂本義喜(さかもと よしき)さん

絵本
原作者



日時

令和7年11月26日(水)14:00～15:10

場所

津島中学校(体育館)

対象

津島中学生及び一般住民 約250名

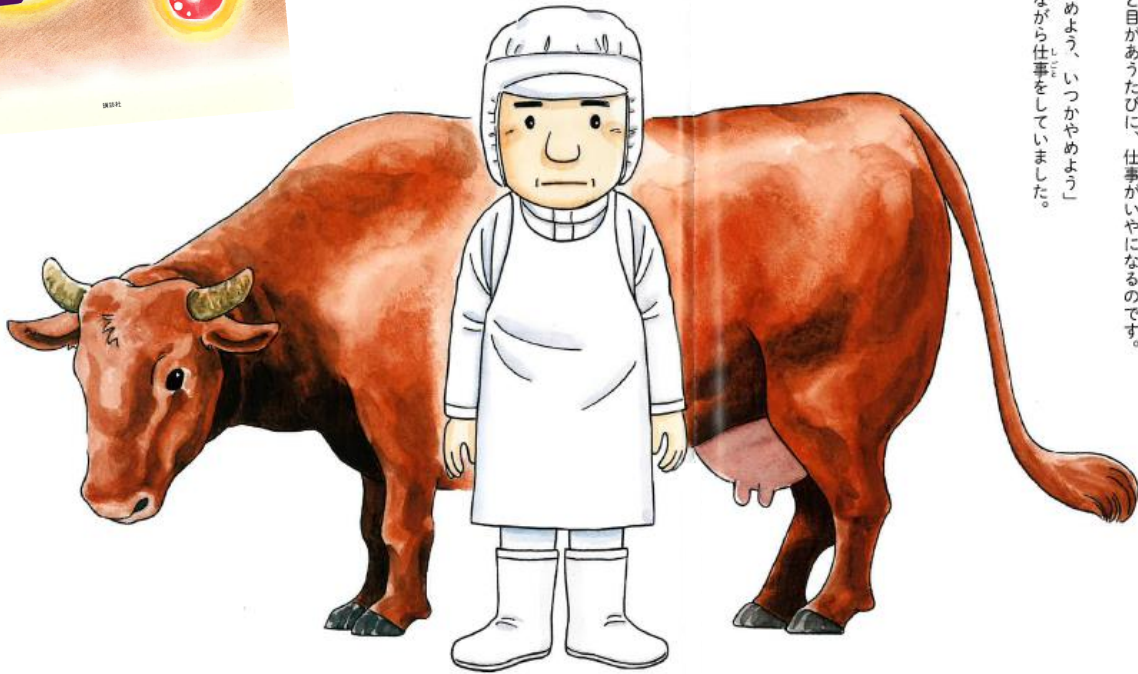
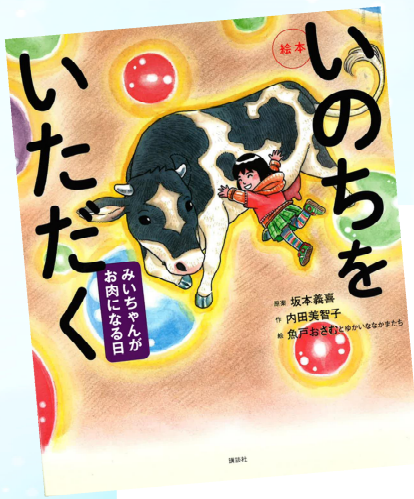
参加費 無料
申込み 不要

どなたでも
お気軽にお越しください



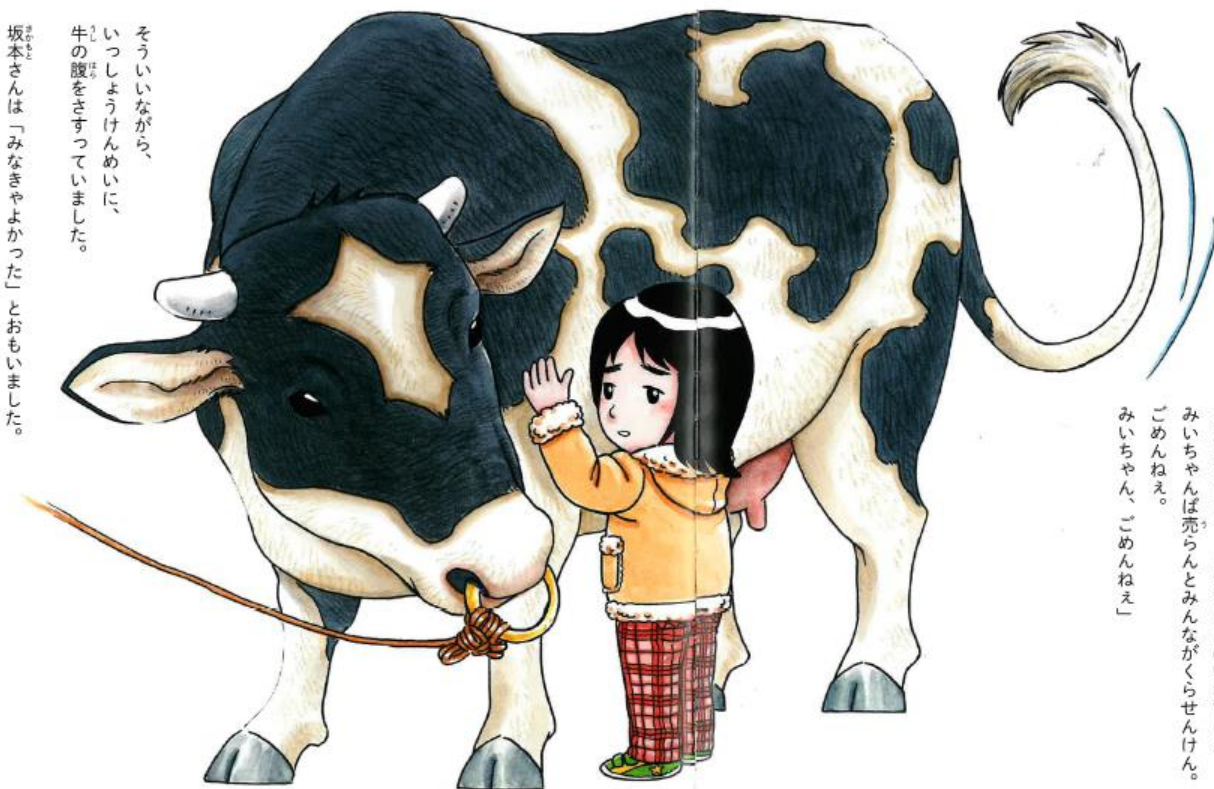
みいちゃんがお肉になる日

～一部抜粋～



坂本さんは、食肉センターにつとめています。
牛のいのちを解いて、お肉にする仕事です。
坂本さんは、この仕事がずっといやでした。
牛を解く人がいなければ、牛の肉はだれも食べられません。
だから、たいせつな仕事だということはわかっていました。
でも、牛と目があうたびに、仕事がいやになるのです。
「いつかやめよう、いつかやめよう」
とおもいながら仕事をしていました。

「解く」とは
牛や豚を殺すこと



そういいながら、
いっしょけんめいに、
牛の腹をさすっていました。
坂本さんは「みなきやよかった」とおもいました。

すると、女の子が、
牛にはなしかけている声がきこえてきました。
「みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。
みいちゃん、ごめんねえ。」

「いただきます」 みなさんは、きちんと言えていますか？
動物の命を私たちはいただき、生かされている